



ですか？
もしもの
ときの備え

カラオケボックス
個室ビデオ店
漫画喫茶
インターネットカフェ
等...

利用客が火災に気づきにくい施設には
自動火災報知設備の設置が義務づけられました

総務省消防庁・(財)日本消防設備安全センター
違反是正支援センター

改正の概要

- ・カラオケボックス
- ・漫画喫茶
- ・インターネットカフェ
- ・テレフォンクラブ
- ・個室ビデオ

個室形態の店舗に対する
自動火災報知設備の設置義務化です。

■潜在的な危険性…個々の利用客が火災に気づきにくい構造

●大音響



室外の火災に気がつかない。
煙の侵入に気づきにくい。

●閉鎖環境



眠ってしまって、室外の火災に気づきにくい。

●密集構造



煙が充満しやすく、避難経路が断たれやすい。

●人手不足



少ない従業員で、火災へ対応しきれない。

■対象となる業態・店舗形式…どんなお店が対象になるか



カラオケボックス



漫画喫茶



インターネットカフェ



個室ビデオ



テレフォンクラブ

安全対策の強化

・300m²未満への設置義務
・避難訓練の実施

自動火災報知設備は、規模に関係なく300m²未満でも設置義務があります！

自動火災報知設備と安全対策の強化

感知器
火災の熱や煙を感知する



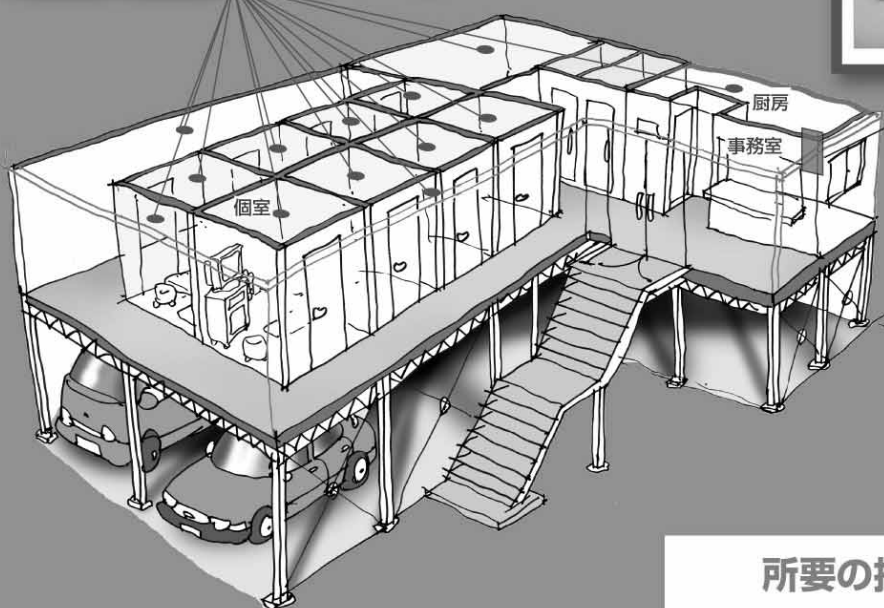
炎

煙

施設内に報知



自動火災報知設備



カラオケボックスやディスコ等、室内又は室外の音響が聞き取りにくい場所では、騒音により自動火災報知設備又は非常警報設備の警報が聞き取れないことのないよう所要の措置を講ずることとされました。

所要の措置とは…

- ① 火災の警報音以外の音よりも 6dB 以上強くなるよう確保する。
- ② 自動火災報知設備、非常警報設備の警報装置の作動と連動して、警報装置の音以外の音が自動的に停止する。

設置完了までの期間

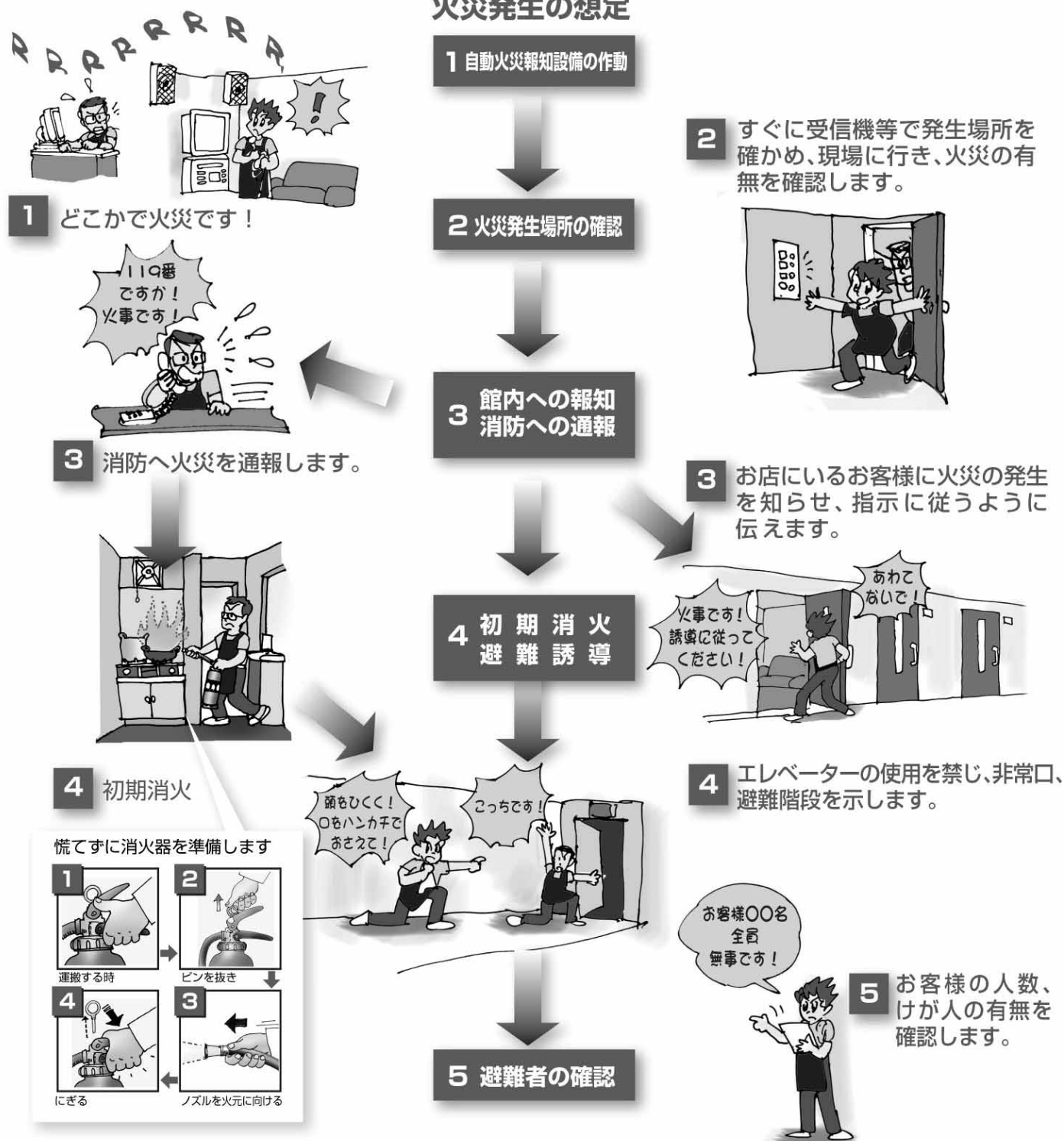
- 平成20年10月1日施行
 - 既存施設に対しては、平成22年3月31日までの猶予期間
- その他、消防機関へ通報する火災報知設備、排煙設備およびスプリンクラー設備等の設置が必要となる場合があります。設置基準の詳細についてはお近くの消防署に問い合わせください。

実施しましょう！

避難誘導・初期消火訓練

火災時に、全ての従業員がお客様を安全・確実に非常口に誘導できるよう、日頃から、繰り返し避難誘導訓練を行ってください。また、初期消火も大変重要です。同時に、繰り返し初期消火訓練も行ってください。

火災発生時の想定



ご不明な点は、お近くの消防署までお問い合わせください。

違反是正支援センター